

年末、年始の忙しいとき、出品が少しは減っているかと思っておりますが、なんと前月より大きく増えて漢字部の総計300枚という嬉しい誤算。そのうえ師範・準師範部の作品の充実ぶりを目の当たりにして、新年への希望を感じました。たぶんあちこちの秋の展覧会を回られて刺激を受けたのかもしれませんが。十二月の半紙課題「長夜如年筆硯横」。長い冬の夜、筆を友として過ごすのもよいかもしれません。

漢字部 次号課題

A 昇平満目新頒朔
日月無窮又履端

(文微明)

B 花開酒國春

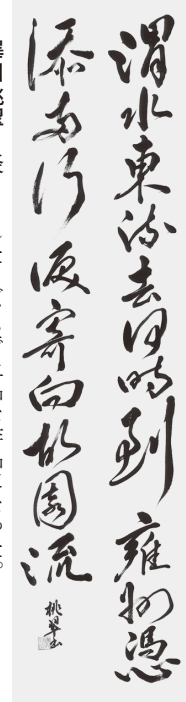
(臨濟義玄)

- ・花は開く酒国の春
- ・花咲いてこの世は酔わではすまぬ春となった。

- ・昇平満目新に朔を頒ち、日月窮りなく又端を履む。
- ・太平の象はみるかぎりみなぎり新年の朝暦を諸侯に分配し、日月永くなる元日を祝うことになった。

優秀作品

〈師範・準師範の部〉

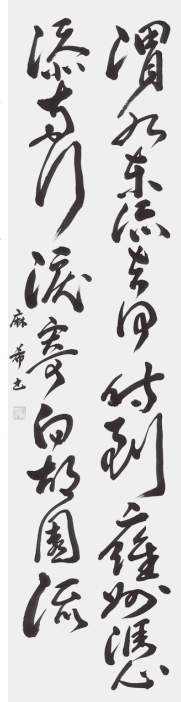


澤田桃翠 淡々としたリズムで上品な作品になった。



株田星邨 墨量豊かで風格のある作品。

〈修士以下の部〉



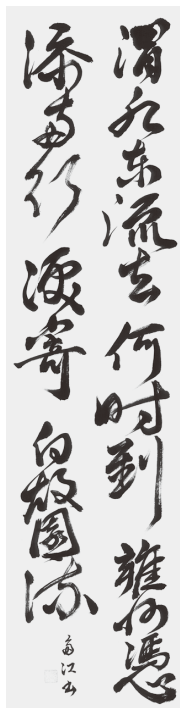
岡田麻希 豊かな線で雄大な大河の流れを感じる。



松本朋子 無理のない構成で渴筆を見せ場にした。



吉田純真 手慣れた隸書で余白を演出した。



中村多江 運腕大きくおらかな魅力がある。



鈴木潤子 たつぷりした墨量で豊かに仕上げた。



山鹿裕蹟 淡墨と直線でしやれたムードがある。



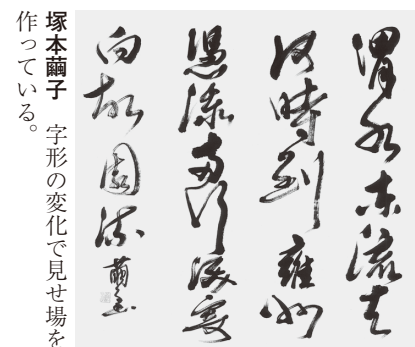
中村華峰 奇を衒わずおだやかな線で魅せた。



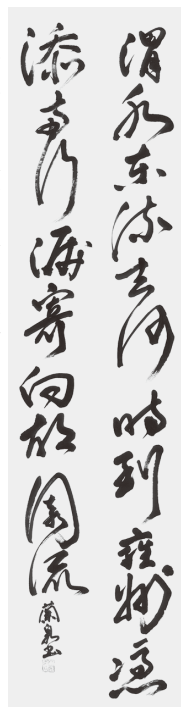
刑部月梢 潤渴の変化と連綿で流れを作った。



井上桃華 整然と線をひきながら気持ちに乗せた。



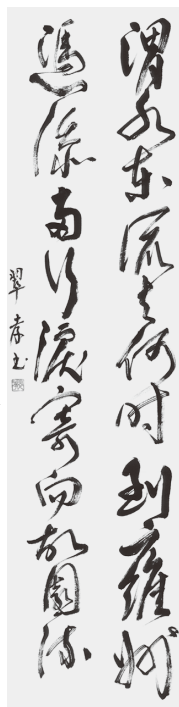
塚本蘭子 字形の変化で見せ場を作っている。



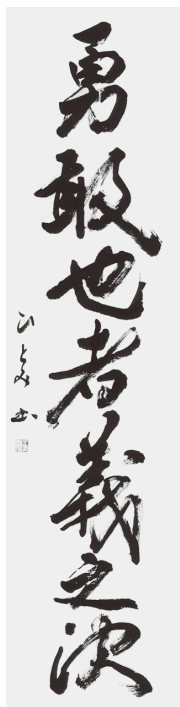
井田蘭泉 各所の連綿で流れを作った。



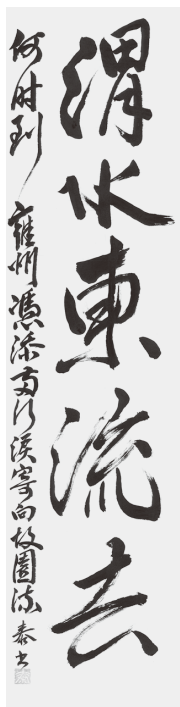
岩元麻理 横に大きく働く線が作品を大きく見せた。



木村翠孝 墨量の変化としなる細線で力強くなった。



片野坂ひとみ くい込む線が強弱のリズムを出した。



橋本泰 懐の大きな字形の大字が特によい。